

平成 24 年 6 月 6 日
事務連絡

近畿本部、四国本部、九州本部
各本部長各位

中国本部長 近藤英樹

第 18 回西日本技術士研究・業績発表年次大会への論文募集について【依頼】

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。平素より中国本部に格別のご支援を賜りまして厚くお礼申し上げます。

さて、平成 24 年 11 月に、当本部主催による「第 18 回西日本技術士研究・業績発表年次大会」を開催致します。開催概要は、別途資料（開催趣意書及びパンフレット）のとおりで、大会テーマを『社会貢献活動への技術士の役割』としています。

つきましては、大会テーマにそった内容での論文発表者を募集しますので、選任の上、ご推薦いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

敬具

記

論文テーマ : 『社会貢献活動への技術士の役割』

発表時間 : 各 30 分(質疑応答 5 分を含む)

論文提出希望 : 近畿、四国、九州及び中国の各地域本部で 2 編以上

論文受付

①発表要旨の提出期限 : 6 月 2 9 日 (金)

②報告内容 : 発表要旨(下記)

③報告先 : 中国本部事務局宛(植田または勝田)

ipej-hiro@rapid.ocn.ne.jp (メールにて)

④論文作成要領等 : 7 月 17 日(火)までに選考結果と合わせてお送りします。

⑤論文提出期限 : 9 月 28 日(金)

発 表 要 旨

【発表テーマ】「〇〇・・・に関する研究」・・・(仮題)で結構です。

【発表者名】連名の場合は、発表者に○印

【発表者連絡先】連絡先(住所、電話、e-mail)

【キーワード】3～5 程度

【発表要旨】400 文字程度(A4 1 ページ)

*中国本部広報委員会において発表要旨を確認し、最終的に 8 編を選考いたします。

選考結果通知は平成 24 年 7 月 17 日(火)までに発表者へご連絡を差し上げます。

第 18 回西日本技術士研究・業績発表年次大会（案）

1. 開催趣旨

日本技術士会は、平成 23 年 4 月 11 日付けで公益社団法人としての登記手続きを完了し、今後は、公益社団法人日本技術士会（以下、「本会」という。）として、これまでも増して全国の会員及び技術士のため、また広く科学技術の向上、社会の発展のため貢献することが求められています。

一方、本会及び技術士の社会的認知度は依然として低く、技術士の社会的地位の向上が遅々として進まず、ひいては会員拡大を阻害する大きな要因となっています。

本会及び技術士の社会的認知度の向上のためには、ホームページや会誌による広報活動、及び「地域産学官と技術士との合同セミナー」の開催等により直接的、戦略的に社会に情報発信することに加えて、社会貢献活動の成果により、間接的に社会にその存在を知らせることが重要と思われます。

社会貢献活動とは、社団法人日本経済団体連合会（以下、「日本経団連」という。）の定義によると、「社会の課題に気づいて、自発的にその解決を目指し、直接の対価を求めることなく、その持てる資源を投入すること」とされています。直接の対価を求めないということは、その活動が社会全体の利益になるものでなければならないということで、ここで、持てる資源とは、組織の保有している資金・人材・施設・技術力を意味します。これを本会に当てはめた場合、公益社団法人という特殊性から、人材・技術力を投入しての社会貢献活動が主になると考えられます。

また、社会貢献活動を分野別にみると、日本経団連が2010年にまとめた「2009年会貢献活動実績調査」では、次の15分類となっており、本会は、かなりの分野で社会貢献を果たすことが可能と考えられます。

- 1) 社会福祉、社会的包容力、2) 健康・医学、スポーツ、3) 学術・研究、4) 教育・社会教育、5) 文化・芸術、6) 環境、7) 地域社会の活動、史跡・伝統文化保全、8) 国際交流、9) 災害被災地支援、10) 防災まちづくり、防犯、11) 人権、ヒューマン・セキュリティ、12) NPOの基盤整備、13) 雇用創出及び技能開発、就労支援、14) 政治寄付、15) その他

わが国は、現在、国・地方とも、財政状況の悪化、少子高齢化の急速な進展、長引く景気の低迷など、極めて厳しい状況に直面しています。こうした中で、地域産業おこしや交流人口の増加、地域コミュニティの再生等を図るため、各地域に固有の自然、歴史、文化等の様々な「地域資源」を活用し、地域活性化を進めようとする活動が注目を集めています。

さらに、持続可能な社会を実現するためには、地域の自然エネルギーや未利用資源の活用・保全を通じて地域社会を活性化しようという活動が、東日本大震災・福島第一原子力発電所事故以来、一段と強まっています。このような活動は、上記分類では 7) 地域社会の活動、史跡・伝統文化保全、が該当すると思われます。

そこで、本大会では、7) 地域社会の活動、史跡・伝統文化保全に限らず、様々な分野に対して、現在、技術士がどのような社会貢献活動を実施しているか、その事例を広く集め、本会及び技術士の社会的認知度を、今後、効果的・効率的に向上するための方策を検討することを目的とします。

各本部各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。